中学校２年　英語　調査結果の考察

（１）設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 ＼ 設定通過率の	観点別			領域別			計
	表現の能力	理解の能力	知識・理解	聞くこと	読むこと	書くこと	
＋10％ より高い	０	３	１	２	２	０	４
±10％ の範囲内	３	７	４	４	４	６	１４
－10％ より低い	１	１	０	１	０	１	２
計	４	１１	５	７	６	７	２０

（２）考察

①　全体について

ア　「知識・理解」の学習状況は、おおむね良好である。「理解の能力」のうち「正確に情報を受け取ること」については、おおむね良好である。

イ　「表現の能力」については、指導の改善が必要である。

②　成果

ア　正確に「聞くこと」、正確に「読むこと」の学習状況はおおむね良好であることがうかがえる。

イ　場面や状況に応じたふさわしい表現の知識や文構造についての知識は、おおむね身に付いている。

③　課題

ア　「書くこと」の中で、対話の流れや展開を考え、文法に従って正しく文を書く力が十分身に付いていない。

イ　「聞くこと」の中で大切な部分を聞き取ったり、「読むこと」の中で、書かれた情報などに対して適切に応じたりする力が十分身に付いていない。

（３）今後の指導

ア　知識・技能の定着を図り、それらを活用して思考力、判断力、表現力等を育む指導の充実が必要である。

・時制や疑問詞等に着目させることにより、対話の流れや展開について理解を図る。さらに「１日１文３単語」などにより、正しい文法を用いて英語を書く活動を多く設定する。

・聞いたり読んだりして取り入れた情報等について、自らの体験や考えと結び付けて話したり書いたりして発信するなど、４技能を総合的に育成する指導を充実させる。

・教科書本文等を素材にし、自分の考えや気持ち、事実等を伝え合う言語活動を工夫する。
（例）ディスカッション、ディベート、スキット、スピーチなど

イ　大切な情報を正確に受け取ったり、質問や依頼に対して適切に応じたりする力を付けるための指導の工夫が必要である。

・話し手や書き手が伝えたいことや必要な情報を正しく理解させるために、事前に聞き取りのポイントを与えたり、読み取りのヒントとなる語句や表現を示したりする。

・場面や状況設定を工夫をしながら、目的を明確にした言語活動を行わせる。その際、相手の意向をくんで実際に行動に移すなど、適切に応じる指導を充実させる。

※実際の指導例：(15

絵、図、資料や教科書の素材等を用いて、思考力・判断力・表現力を育成する言語活動を取り入れる。

【スキット】

A: Where did you go last summer?
B: I went to Kyoto last summer.
A: What did you do there.
B: I saw *Kinkakuji*.
A: How was it?
B: It was very beautiful.

【スピーチ】

Where did you go last summer?
Last summer I went to Kyoto with my family.　I saw many temples.
For example *Kinkakuji* and *Ginkakuji*.
They were great.　I want to go to Kyoto again.　Do you have any questions?

＊難易度の異なる学習プリントを準備したり、ペアやグループで表現を吟味させたりして、個に応じた指導の充実に努めるとともに、複数の技能の統合を図る。